

一般向け 今川図書館だより

いまがわーど

2019年 10月号

今月のテーマ

「空」



今月の特集「空」



青い空に浮かぶ様々な形の雲。虫の声をBGMに、やさしく照らす夜の月。天高く、澄みわたる秋の空は、見上げるだけで前向きになれそうです。

青空の向こうに何が待っているのか、本の中の空を見上げてみませんか。

『東京屋上散歩』

鷹野晃 / 著 2012年 淡交社 219.36 円

「地上からは決してうかがい知ることのできない、東京ならではの魅力がひそむ場所」。わきあがる雲や吹きわたる風の匂い。気分転換するために屋上へのぼり、空を見上げる。

昔懐かしい屋上遊園地や古びた看板、聖なる鳥居、緑化整備された屋上。様々な東京の屋上風景と、そこから見える時代の移り変わりをのせた写真集。上に向かうドキドキ感と扉を開ける感動を味わいに、ひとりで、仲間と、散歩に出かけてみたい。ただし、居心地の良さや解放感を装う、屋上の魔物には気をつけて……。



『空撮世界の雲の風景』

山田圭一 / 写真・文 2007年 成山堂書店 748 円

パラパラと、ページをめくって見てほしい。そこにあるのは、恐ろしく高い山、それより高い雲、それよりさらに高い視点。普段、人の意図したデザインに囲まれている私たちだが、何の意識も持たない山や雲がつくる、自然の美しさと雄大さに圧倒されるだろう。

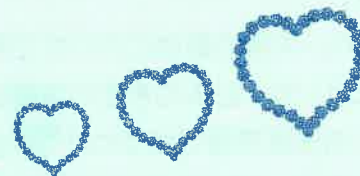
下から見上げる世界とは違う、空撮が見せる絶景。自然が産み出す造形を称賛するのに、言葉は足りない。

『空へ向かう花』

小路幸也 / 著 2008年 講談社 シ238

屋上から飛び降りようとしたハルを助けたのは、半年前ハルが死なせてしまった少女の親友カホだった。悲しすぎる運命と傷を背負ったふたり。ふたりをあたたく見守る大人たちは、彼らを救うことができるのだろうか。

人間関係が希薄な現代だが、どんな時代でも、子どもたちを守る存在として、大人は強く、やさしくありたい。人の心のあたたかさを感じる一冊。



『ナウシカの飛行具、作ってみた』

発想・制作・離陸 —メーヴェが飛ぶまでの10年間—

八谷和彦 / 著 2013年 幻冬舎 538 円

“メーヴェ”を知っていますか。映画「風の谷のナウシカ」で描かれた、空を美しく舞うナウシカの愛機のことである。

2003年、この“メーヴェ”を制作するプロジェクト「オープンスカイ（開け、空！）」が始動。ラジコン機からスタートし、ゴムで引っ張るグライダーを経て、ようやくジェットエンジンを搭載。初飛行は、飛行時間11秒。ジャンプに近いフライトだが、実現不可能と言われた飛行機が確かに飛んだ。そして現在も改良が進められており、2019年の夏、アメリカの空を5分間も飛行するまでに至った。

本書は、著者がどのように架空の一人乗り機“メーヴェ”の飛行を実現させたのか。初飛行までの10年間のプロジェクトの全容を記載。空への思いが詰まった本。



『天気と気象のしくみパーフェクト事典』

知っておきたい基礎知識から日本の四季のしくみまで』

平井信行 / 監修 2015年 ナツメ社 451ナ

NHKで気象キャスターを務める平井信行氏が、日本の四季とお天気のしくみを、とてもわかりやすく、おもしろく解説しています。

天気予報でよく使われる雨の降り方「一時雨」「時々雨」「のち雨」の表現を聞くと、一体、いつどう降るの?と迷ってしまいがちですが、これらの言い方は、予報期間内の雨が降る時間の割合によって、定義づけされている気象用語なのです。

また、中国で考案され、太陽の動きに合わせて季節を24分割した二十四節気(春分や秋分など)や、日本の季節の特徴を加味した雑節(暦の上では…という言い方)も天気予報では使われています。

本書を読んで、改めて天気予報を聞いてみると、その説明に合点がいくと思います。空をながめるのが楽しくなりそうですね。



今川図書館のあれこれ♪「空」

☆今川図書館は2008年(平成19年)12月16日に開館しました。まもなく12周年を迎えますが、シンボルツリーの桜とけやきも、図書館を見守るように、青空に枝を大きく広げています。図書館の宝ですね。

☆開館以来、職員が折り紙を利用した掲示物や案内板を季節や展示に併せて作成しています。また、今年度は、一般向けおたより「いまがわーど」の表紙絵を、ふたりの職員が交互に担当しています。どちらもテーマにそった力作です。表紙にもご注目ください。



YA におすすめ!



中高生のみなさんにおすすめの本を紹介します。
今月は、職場体験にきた中学生が紹介してくれた本です。

『ヒトラー・ユーゲントの若者たち 愛国心の名のもとに』

S.C.パートレッティ / 著 2010年 あすなろ書房 930ハ(YA)

この本は題名にヒトラーとありますが、アドルフ・ヒトラーについては本ではありません。1933年から1945年までの間に、ヒトラーとナチスに従った、十代の少年少女についての話です。

その時代、少年少女はヒトラー・ユーゲント(ヒトラー青年団)のメンバーとなることを誇りに思い、その誇りを胸に抱きながら、ヒトラーの言葉を正義だと信じ、活動していました。

しかし、ヒトラー・ユーゲントにはユダヤ人、半ユダヤ人は入団することができませんでした。ユダヤ人に対する弾圧が始まると、多くの少年少女はヒトラーへの嫌悪感を覚え、反旗をひるがえすのです。これはそんな若者たちの、複雑で、刺激に満ちていて、痛ましい物語です。

(井草中学校の2年生が紹介してくれました)



◇展示 YA「読書新聞」◇

菟窪中学校3年生の皆さんが、国語の授業で作成した「読書新聞」を展示します。展示に併せて、紹介されている本も並べます。どうぞ、ご覧ください。

☆「YAコーナー みんなの掲示板」10月のテーマ☆

教えて!みんなの好きなマンガ

マンガだって、侮れない。いい作品があるのです!!



今川図書館に新しく入った本の中から、おすすめを紹介します。

『歌舞伎さんぽ 芝居の世界を読んで楽しむ、歩いて楽しむ』

小田豊二 / 文 2019年 柏書房 774オ

お弁当売り場でよく目にする「助六弁当」の、名前の由来をご存知でしょうか。『助六由縁江戸桜（すけろくゆかりのえどざくら）』に登場する、助六と恋仲である揚巻（あげまき）のふたりに由来するもので、あげまきの「あげ」がおいなりさん、「まき」が太巻で、この二つをつめたお弁当を助六弁当と呼ぶのだそうです。歌舞伎から生まれた名前なのですね。

本書は、『仮名手本忠臣蔵』『東海道四谷怪談』など歌舞伎の有名な演目について、ストーリーや舞台のエピソードなどをわかりやすく書いています。また、登場人物のお墓、祀られているお寺なども写真とともに掲載。役者さんは演目が決まると、ゆかりの場所に出向き、供養やおまいりを欠かさないそうです。

行楽の秋。本書と助六弁当を手に、芝居の世界を歩いて楽しむのも粋ですね。



地域の緑化推進を、本の子カラで強かにサポート。
今川図書館がおすすめする緑化関連資料をご紹介します。

『山の仲間たち』

池内紀 / 編 2005年 幻戯書房 914.7イケ

1958年に創刊された山の文芸誌「アルプ」。実用記事や広告は一切なしのスタイルで、まる25年300号を数えた。

本誌に集められた詩やエッセイは60～70年代に書かれたものが多い。それは、高度経済成長期の駆け出しの、山にはまだ「開発」が及んでいなかった頃で、おおらかな自然と時間の流れの中には、星や風、木々や生き物たちなど、書き手それぞれに語りかけるやさしい「仲間たち」がいた。

人間の生き方にまで合理性や利便性を求められる2019年の今こそ、その頃の詩人や画家たちの言葉は、乾いた心にいっそう清くしみわたる。そして、心の奥に追いやられていた感じる力に、少しずつピントが合ってくる。

豊かな山や川のある場所へ今すぐ向かえなくても、深呼吸して散歩にでかけよう。



◇展示「みどり・うつろう」◇

暑かった夏もようやく終わり、緑もひと息ついた様子。うつろいゆく季節とともに、木々も彩り始めます。

本を片手に、彩りを楽しむのはいかがでしょうか。

日時：9月3日（火）～ 11月30日（土）

場所：1階 入口横のコーナー





10月 今川図書館カレンダー



日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
				スペシャル おはなし会		
6	7	8	9	10	11	12
	休館日	あかちゃん おはなし会		おはなし会		
13	14	15	16	17	18	19
	おはなし会			休館日		
20	21	22	23	24	25	26
	おはなし会			おはなし会	あかちゃん おはなし会	
27	28	29	30	31		
	おはなし会 リレー					

開館時間 月～土 9時～21時
 ☐の日（日曜・祝日）は9時～17時
 休館日 第1月曜日・第3木曜日

おはなし会については、児童向け図書館だよりをご覧ください。

杉並区立今川図書館

杉並区今川4-12-10 TEL 03-3394-0431